

平成 2 7 年度事業報告書

社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会

平成27年度事業経過報告

はじめに

近年の急激な少子高齢化による人口減少や都市化・核家族化による家族形態の変化にともない、介護保険制度や障がい者自立支援制度の見直し等社会福祉の各分野における諸制度の改革が進み、人々の生活を支える基盤は「より身近な地域で」という地域福祉・地域ケアの流れとなっています。

本町においても高齢者の一人暮らしや夫婦のみの家庭、ひとり親家庭が増加しており、住民の福祉ニーズが多様化・複雑化しています。

このような中、個人が人としての尊厳をもって住み慣れた地域や家庭で、自立しながらより豊かに「その人らしく」暮らせるような、住民主体のしくみづくりを公私の協働・連携により進めていくことが求められています。

これらの課題に応えるべく、竜王町社会福祉協議会は、住民の皆さまとともに地域福祉の推進に取組む「地域福祉の事務局」として地域住民やボランティア団体、関係諸機関と連携しながら、住民を主体とした地域福祉事業を推進してまいりました。特に平成27年度は、福祉活動やコミュニティ活動を推進する指針となる「地域福祉活動計画」策定2年目として、次の6つの事業に重点を置いて取り組みました。

【重点的な取組事項】

① いろいろな人が協働して地域福祉を進める「つなぎ役」としての機能の向上

本年度設置された地域福祉コーディネーターは、竜王町地域福祉計画の「地域福祉のネットワークづくり」のキーパーソンとして位置付けられており、地域の課題やニーズを発見し、地域の資源をつなぎ、地域での生活を支えるネットワークの中心として活動しました。自治会や福祉委員会、民生委員児童委員などの小地域活動の担い手やボランティア団体、関係機関などと連携して住民主体の地域福祉活動を支援するとともに、地域に出向いて地域組織の役員等との関係を築き、支援につながりにくいケースのキャッチに努めました。

② 生活困窮者自立支援法による自立相談支援など相談機能の充実および困りごとの早期発見・早期対応の取組

生活困窮者自立支援法の施行により、仕事や生活等の困りごとを抱えている方に対して様々な支援機関と連携し、相談支援や他の制度やサービスにつなぐ等、自立に向けた支援を実施しました。本会では地域福祉推進員がこの制度の相談窓口を担当し、自立相談支援を行いました。

また、定期的に心配ごと相談所を開設するほか、無料の弁護士相談会を実施し、多様化・複雑化する相談ごとに対応できるよう図りました。

困りごとを抱えた方をスムーズに支援につなげられるよう、地域福祉コーディネーターが地域の方と関係を築き、連携を図りました。

さらに、地域のサロン活動などからニーズを汲み上げ、専門機関につなぐためのシ

ステム作り、日常生活の中で自然に相談できる地域の『縁側』づくりを積極的に推進しました。

他にも、町が開催する地域ケア会議やアウトリーチ等から上がってくる課題に対し、情報共有や相談支援を関係機関と連携して地域福祉グループの職員がそれぞれ関わり取組みました。

③ 地域住民やボランティアの主体的な活動による地域福祉力の向上

◆小地域福祉活動の推進◆

これまでに31の自治会で福祉委員会が組織され、「だれもが安心して暮らせる地域づくり」の活動に取り組んでいただいています。社協では、こうした小地域福祉活動を支援するため、助成金等を交付し、活動の支援を行ってきました。福祉委員会が各自治会を単位に設置されている例は少なく、本町の特色ある活動として今後も継続発展させたいと考えていますが、活動の活性化や継続化には組織の担い手や後継者、協力員等の人材育成が喫緊の課題となっています。

このような状況に鑑み、福祉委員会の活動の活性化と小地域福祉活動をより一層推進するため、毎年、ブロック単位で地域福祉ブロック別懇談会を区長、民生委員児童委員、福祉委員の参加のもとに開催し、意見交換等交流を深めています。今年度は、「見守り・声かけ活動」をテーマに、地域の誰もが気軽に立ち寄って交流できる、地域の『縁側』としてのコミュニティカフェについて情報交流を実施しました。

また、コミカフェ立ち上げにかかる経費に対して助成金を交付し、社協職員が各地域でともに立ち上げに関わるなどした結果、去年は5地区で開催されていたコミカフェが20ヶ所に広がりました。

◆ボランティア活動の啓発◆

ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・連絡調整を行いました。ボランティアの新規参入や活動の啓発、ボランティア保険の加入促進を図りました。ボランティアコーナーで身近な情報の提供を行い、ボランティアセンターの活動紹介や各種講座等の案内などを「ボランティア通信」により発信しました。また、ボランティア講座やボランティアの集いを実施し、町内のボランティア人材の発掘・育成に向けて取組みました。

④ 学校・地域・職域などでの福祉教育の推進

幼い頃から自然に福祉の心を育めるよう、未就園児と母親を対象に町内の高齢者施設を訪問して交流する「プチどら・にこにこプロジェクト」を開催しました。

小・中学校には福祉教育活動に対する助成を行い、福祉体験学習(車椅子体験・シニア体験・点字体験など)の授業支援およびキャラバンメイトとの連携による認知症啓発活動を実施しました。また、夏休みに中学生が子育てボランティアとしてこどもひろばに参加し、幼児たちと交流しました。

赤い羽根共同募金運動では、園児・小学生・中学生を対象とした「ぬりえ、ポスターコンクール」を実施し、助け合いの心を育むきっかけづくりとしました。町内の保

育園や幼稚園、小中学校と連携し、発達段階に応じた福祉教育を推進しました。

町内全域においては、社協ホームページや広報「福祉りゅうおう」を活用した福祉情報の発信や啓発、各関係機関と連携した研修会等を実施し、各団体・企業における福祉研修の充実発展に資するよう取り組みました。

⑤ 災害に強い街づくりへの取組

災害時要援護者を地域で支える「近助事業」に七里地区が取組をすすめられ、社協職員が支援者研修を実施しました。他の自治会にも同様の取組が広がるよう、近助事業の情報提供を行い、災害時の支援や平常時の見守り活動の充実を図りました。

また、災害時ボランティアセンターとして竜王町防災計画をもとに、本会としての災害時のマニュアルを作成しました。

⑥ 地域福祉権利擁護事業、介護予防、在宅福祉サービスの充実

◆地域福祉権利擁護事業の推進◆

「地域福祉権利擁護事業」により、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの支援を行っていますが、利用者の高齢化や一人暮らし高齢者の増加・障がい者の地域生活移行が急速に進行する中で支援のニーズはますます増加の傾向にあります。こうした現状に対し、専門的な支援体制の充実とともに継続的な研修などを通して生活支援員の育成や支援のレベルアップを図りながら活動を推進しました。

一方で、判断能力が不十分で支援が必要な方が安心して暮らせるためには、地域の人たちの理解や見守る力を高めていくことが必要であり、広報『福祉りゅうおう』を通して権利擁護事業の啓発に努めました。

◆ふれあいプラザを活用した福祉活動の推進◆

町の指定管理者制度により鏡・弓削・鵜川の3つのふれあいプラザを社協が管理運営しており、地域交流や介護予防、ボランティア活動などを推進する活動拠点として施設の有効活用を図りました。未就園児とその保護者を対象とした「こどもひろば(名称：プチどら)」は年139日開設し、延べ3,783名が利用されました。高齢者を対象とした「いきいき趣味活動」は6講座を年167回開催し、延べ1,246名が参加されました。介護予防を目的とした「生涯現役事業」は6領域で年411回開催し、延べ3,321名が参加されました。特に「生涯現役事業」は、昨年度より利用者数も増え、多くの住民の方が参加されました。

◆在宅福祉事業の充実◆

要介護状態の利用者の方が安心して在宅生活が継続でき、自立した生活を送れるよう、身体介護、生活介護、通院介助サービスの提供を行いました。また、障害者自立支援法による身体介護、家事援助などの訪問介護サービスの提供を行いました。さらに、一人暮らしの高齢者や視覚障がい者の方への外出支援や日常生活への支援を実施するなど事業の充実向上に努めてきました。社会福祉制度の改革が進むなか、ますます利用者が増え、個々のニーズも多様化していますが、関係諸機関との連携のもと、今後も住民皆さまの立場に寄り添った社協としての在宅福祉事業の充実に努めます。

事業実施報告

1. 法人組織・事務局機能の強化

□ 法人運営機能の充実・強化

事業	実施状況	事業内容
(1) 理事会	平成27年 5月26日	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度竜王町社協事業報告の承認について 平成26年度竜王町社協会計決算の承認について 平成27年度竜王町社協評議員の選任について 竜王町社協役員報酬および評議員費用弁償に関する規程の改正について 竜王町社協職員就業規則の改正について
	7月30日	<ul style="list-style-type: none"> 専決処分の承認「社協職員給与規程の一部改正」について 「社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会定款」の一部改正について 指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について 社協の組織改正について 社協常務理事の指名について
	9月25日	<ul style="list-style-type: none"> 組織改正に伴う 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会の組織および運営に関する規程改定の件 竜王町社会福祉協議会役員等慶弔内規改定の件 竜王町社会福祉協議会有料広告掲載の取扱いに関する規程改定の件
	11月20日	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティカフェ助成事業実施要綱について 竜王町社会福祉協議会職員就業規則の改定について 竜王町社会福祉協議会指定障害者福祉サービス事業所運営規程の改定について 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会表彰・感謝規程の全部改定について
	平成28年 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款施行規則の一部改定について 各種団体補助金交付要綱の一部改定について
	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算(案)について 平成28年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画(案)について 平成28年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算(案)について
	3月30日	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会介護タクシー仕様車新車購入の件 社会福祉法人竜王町社会福祉協議会 会長1名、副会長2名選出の件

(2) 評議員会	平成27年 5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の職務代理者の順位付について ・竜王町社会福祉協議会評議員の補選について ・社会福祉協議会職員給与の改定について ・社会福祉協議会労務職員給与の改定について
	平成28年 3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度竜王町社会福祉協議会の事業報告の承認について ・平成26年度竜王町社会福祉協議会の会計決算報告の承認について ・第20期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事(補欠)の選任同意について
(3) 監事会	平成27年 5月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算(案)について ・平成28年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画(案)について ・平成28年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算(案)について ・第21期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事の選任について
(4) 会長・副会長 調整会議	随 時	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度社会福祉協議会会計監査の実施
(5) 部門間調整 会議	随 時	<ul style="list-style-type: none"> ・会議(役員会、評議員会)前の協議や人事関係等の協議を行った。 ・事業実施等に関する協議を行った。

□ 部会・委員会機能の充実・強化

事 業	実施状況	事 業 内 容
(1)法人運営部会	随 時	法人の経営方針、組織の充実及び事業財源の安定化・拡大等検討し理事会に提言する。
(2)地域福祉推進部会	随 時	地域福祉事業の充実・強化のための方向性を示し、本会が推進する事業の評価または将来的な展望等を理事会に提言する。
	9月3日	地域福祉懇談会等の開催に向けての調整。 地域福祉活動計画の進行管理等にかかる提言。
(3)在宅福祉事業部会	随 時	介護及び介護予防を目的とする事業の充実・強化のための方向性を示し、本会が実施する在宅福祉サービス事業の評価や将来的な展望等を理事会に提言する。
(4)広報部会	4月16日	No.108号製作打合せ(5月11日発行) P14

(5)各種委員会	6月22日	No.109号製作打合せ（8月1日発行）P12
	7月7日	//
	9月25日	No.110号製作打合せ（11月1日発行）P12
	10月13日	//
	12月22日	No.111号製作打合せ（2月1日発行）P12
	平成28年 1月12日	//
個別事業の充実・強化のために、具体的な推進手段の検討や当該事業の評価、将来的な展望等を会長に提言する。		
◆ ボランティアセンター運営委員会		
◆ 善意銀行運営委員会		

□ 役職員研修会等の実施

事業	実施状況	事業内容
(1)役員研修	随時	滋賀県社会福祉協議会や同会長会等が主催する社協役員研修などに参加し、役職員の研鑽に努めた。
(2)職員内部研修会の実施	10月6日	マイナンバー制度学習会
	10月21日	人権研修会
	毎月1回	ヘルパー会議（ケアの統一等について）
(3)局内会議の実施	2回／月	事業進捗会議の開催 （毎月の事業予定の確認、事業打ち合わせを行った。）
	毎日	地域福祉推進グループメンバーで毎日30分程度、情報交換・連絡調整等のシェア会議を行い情報共有に努めた。
	2回／月	地域福祉推進グループメンバーで、テーマを設けて検討会・学習会などを行った。
(4)研修会への参加	随時	県・町および関係機関が実施する専門研修に積極的に参加した。交流と研鑽に努めた。

2. 安定した事業財源の確保

□ 会員会費の拡充

事業	実施状況	事業内容
(1)一般（世帯）会員の加入促進	4月	区（自治会）長宅、団地（美松台）へ役職員が訪問し、実施趣旨を説明のうえ、理解と協力をいただくことに努めた。 自治会の協力のもと、一般会員の募集を行い、事業財源の確保と町民サービスの充実を目指した。 一般会費（世帯1,000円）会員数1,440世帯と1自治会 会費合計額 1,421,609円

(2)賛助会員の加入促進	7月～ (9月強化月)	<p>企業、商店、個人の皆様に対し、郵送での協力依頼のほか、役職員が計画的な連携のもとで全町的な協力依頼を行い、事業財源の確保に努めた。</p> <table> <tr> <td>賛助会員（2,000円以上）</td><td>企業・商店</td><td>114社</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>51人</td></tr> <tr> <td>特別会員（10,000円以上）</td><td>企業・商店</td><td>33社</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>10人</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>企業・商店</td><td>147社</td></tr> <tr> <td></td><td>個人</td><td>61人</td></tr> </table> <p>会費合計額 889,850円</p>	賛助会員（2,000円以上）	企業・商店	114社		個人	51人	特別会員（10,000円以上）	企業・商店	33社		個人	10人	合計	企業・商店	147社		個人	61人
賛助会員（2,000円以上）	企業・商店	114社																		
	個人	51人																		
特別会員（10,000円以上）	企業・商店	33社																		
	個人	10人																		
合計	企業・商店	147社																		
	個人	61人																		

□ 事業財源の募集

事業	実施状況	事業内容
(1)助成金の活用	随時	滋賀県共同募金会の「滋賀のまちを良くするしくみ」助成事業の申請を行い、翌年度に向けた取り組みとして、小地域でのコミュニティカフェ立上げ支援のための財源を確保した。
(2)広報広告募集	随時	広報広告を募集し広報の財源に充足した。
(3)入れ歯リサイクル事業	年間	不要になった入れ歯を町内の歯科・病院などで回収していただいた。一定個数になった段階で専門業者に回収を依頼予定。収益の一部はユニセフに寄附される。

□ 善意銀行の管理・運営

事業	実施状況	事業内容
(1)善意銀行運営委員会の開催	11月27日	寄付金の管理状況の報告。 コミュニティカフェ助成要綱の決定を行った。 父子家庭配分金の協議…3件の配分決定をした。
(2)災害時等の支援に要する費用の管理	年間	災害時に備えた費用の準備と管理。

3. 地域福祉活動計画の進行管理

事業	実施状況	事業内容
(1)活動計画の進行管理	年間	<p>前年度に地域福祉活動計画（5ヵ年）を策定し、地域福祉ブロック別懇談会で配布し、ホームページへ継続して掲載した。引き続き地域の皆さまの理解と協力を得ながら、少しずつ活動の具現化に努めている。</p> <p>実施にあたっては、社協の基盤強化を図りつつ、現状と社会情勢を踏まえたうえで取組を行った。</p>

4. 地域づくり

□ 小地域福祉活動の推進

事業	実施状況	事業内容
(1)小地域支え合いの「近助」体制づくり	年間	<p>小地域における災害時要援護者支援体制づくりを支援し、その活動を通じて日ごろの見守り支え合い活動の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域支え合いの「近助」体制づくり事業の実施 西横関地区（近助事業の説明会） 七里地区（取組み開始に向けての支援者研修を実施） ・近助事業での職員派遣…11/9、2/20 ・その他、近助事業の資料を希望された地区へ情報提供を行った。
(2)福祉委員会の組織化および活動への支援	随時	<p>各地区より福祉委員会による小地域福祉活動の計画と申請を受理し、共同募金地区配分金等を活用した地域サロン等への助成及び歳末助け合い配分金を活用した地域ふれあい活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン 28地区へ助成 ・子育てサロン 6地区へ助成 ・子ども交流事業 15地区へ助成 <p>地域への社協職員による講師派遣、啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林（福祉委員研修会）5/24 ・駕輿丁（おたっしや教室）6/12 ・橋本（防災訓練での車イス講習）6/14 ・小口（いきいきサロン）7/26 ・信濃（人権福祉講話）11/15 ・西山（自治会・福祉委員研修）11/27 ・川守（福祉協力員研修）11/14 （支援者研修）1/30
(3)福祉委員研修の実施	4回 / 年 程度	<p>ブロック別懇談会を開催し、地域住民のつながり支え合いを構築するための手法についてワークショップを行い、また、他地区との交流を通じて、地域課題の解決に向けた地域の町づくりを担う方たち自身の気づきのきっかけづくりを行った。</p> <p>ブロック別懇談会…10/13、10/16、10/20、10/23、10/26</p> <p>この他、社会福祉大会での研修（講演）の実施、町主催の研修会の案内支援を実施した。</p>

(4)地域福祉ネットワークの構築	年 間	<p>自治会長、福祉委員、民生委員児童委員を対象とした三者研修会を開催し、小地域福祉委員会同士の交流の場を設け、情報交換や福祉課題の共有化を通じて、地域自身の課題解決力の向上を図った。</p> <p>地域福祉三者研修…7/22</p>
(5)地域子育てサロン等の運営支援	年 間 随 時 2回/年	<p>福祉委員会を通じ、福祉の町づくり運動推進地区助成金を助成した。開催回数の多い地区に対しては、助成金額のより多い町の健康推進課の助成制度申請を勧奨した。</p> <p>各地区へのおもちゃ貸し出しについては、利用希望が無かった。</p>
(6)見守り配食事業	5回/年	<p>一人暮らし高齢者へ季節のお弁当を配食した。</p> <p>ボランティアさんの協力で温もりのあるお弁当を手作りし、民生委員児童委員さんに届けて頂いた。また、民生委員児童委員さんと連携して記録用紙を活用し、対象者の心身の変化など実態把握に努めた。</p> <p>第1回 6/13 60食 第2回 9/5 58食 第3回 11/7 56食 第4回 1/23 57食 第5回 3/5 60食</p>
(7)「縁側」づくりへの支援	10月 随 時 11月 ～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック別懇談会で、コミュニティカフェ立ち上げに関するワークショップや意見交換を行い、地域で取り組む際のきっかけづくりを行った。 ・地域のコミュニティカフェ立ち上げに係る資金へ助成するための財源を確保するため、滋賀県共同募金会へ「滋賀のまちを良くするしくみ」重点テーマ「ささえあい滋賀」助成事業へ「コミュニティカフェ助成事業」として申請した。 *審査結果・・・100万円の助成決定をいただいた。 ・コミュニティカフェ助成事業により、地域やボランティア等から計画と申請を受理し、前述の助成金と社協善意銀行を活用して各申請者（団体）へ助成し、コミュニティカフェの取組の推進を図った。 *18地区（ボランティア）へ助成。 （この内新規開設は、14地区（ボランティア）） ・ボランティアセンター事業として、コミュニティカフェ開設応援講座を開催し、コミュニティカフェの取組の推進を図った。 <p>11/23、12/1、2/18、2/27</p>

□ 地域福祉コーディネーターの設置・充実

地域福祉コーディネーターは、地域での福祉課題に対し地域の関係者と専門職で連携を図りながら解決策を考えていくための重要なつなぎ役を担う。

事業	実施状況	事業内容
(1) 課題への早期対応・予防	年間	地域住民や福祉関係者が困りごとについて、適切な相談窓口機関へスムーズにつながるよう支援した。
(2) 相談支援体制の強化	年間	情報提供や単発的な支援だけでなく、福祉委員会会合やふれあいサロンなどへの参加など、継続的に関わり続けることで、社協全体で地域からの要望に応えられる体制づくりを目指し取組んだ。
(3) アウトリーチの強化	年間	地域に出向き、地域住民との関係を築き、制度の狭間に陥ったり、支援につながりにくいケースをキャッチするよう取組んだ。 また、福祉委員会の活動について停滞している地区への重点的支援を行い、どこの地区でも小地域福祉活動の充実を目指せるよう支援していくよう取組んだ。 訪問実績 ＊おたっしや教室 29 件 ＊高齢者サロン 12 件 ＊子育てサロン 3 件 ＊コミュニティカフェ 16 件 ＊福祉委員会 3 件 ＊老人クラブ例会 1 件 ＊学童（竜小・西小） 2 件 ＊高齢者施設 8 件

5. 地域を支える人づくり

□ ボランティアセンター機能の充実

事業	実施状況	事業内容
(1) センター機能の強化	年間	<p>ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行った。</p> <p>広報掲載によりボランティアの発掘・ボランティア活動の啓発を行った。</p> <p>ボランティアの組織化（グループ化）に向けて実態把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア斡旋件数：斡旋30件、延べ連絡調整171件 ・ 新規ボランティア登録：23名（個人ボランティア）

(2)ボランティア活動の啓発	年 間	<p>事務所前に設置したボランティアコーナー（掲示板）において身近な情報の提供、ボランティア保険の加入促進等に努めた。</p> <p>27年度加入実績：ボランティア活動保険 843人 ボランティア行事用保険 14団体</p>
(3)福祉教育の支援	6回/年 随 時	<p>町内の小・中学校に対し、福祉体験の指導や講義などで総合学習における支援を行った。</p> <p>竜王小学校 シニア体験学習 6/30 視覚障がい者理解・点字体験 10/9 竜小祭り（福祉体験補助）11/13 竜王西小学校 車イス体験 5/7 視覚障がい者理解・点字体験 6/26 シニア体験 10/30</p> <p>町福祉課と協力してキャラバンメイトとの連携による認知症啓発活動を実施した。（竜王中学校・竜王小学校に訪問）</p>
(4)福祉講座・研修会の企画運営	年 間	<p>研修会・講座を通して、ボランティアの育成及び地域で活躍できるよう支援に努めた。</p> <p>〔開催講座等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア入門講座 6/6、6/20、7/4、7/18 ・ボランティアのつどい 1/16 ・コミュニティカフェ開設応援講座 11/23、12/9、2/18、2/27
(5)災害時ボランティアセンターの体制づくり	年 間	<p>竜王町防災計画を基に、災害時の支援マニュアルを作成し、本会としての対応策を明確にしている。</p> <p>平成27年度は災害ボランティアセンターを立ち上げるような事案はなかった。</p>
(6)物品の貸し出し	随 時	<p>研修用機材の整備、貸し出しレク用品・イベント用品の貸し出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レク用品貸出45件、地域福祉イベント用品貸出24件、紅白幕貸出4件（計13枚）

6. 仲間づくり・生きがいづくり

□ 各種サロン・講座の開催

事業	実施状況	事業内容
(1) いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）	各講座 1回/月 程度	ふれあいプラザにおいて、カラオケ・健康料理・健康体操・ちぎり絵・書道教室・編み物手芸教室など各種講座を実施。講座で制作した作品を文月発表会や文化祭で展示した。 開催回数/年 のべ参加者数/年 カラオケサロン 60回 400人 健康料理教室 24 240 健康体操教室 2 8（6月から中止） ちぎり絵教室 10 67 書道教室 36 289 編み物手芸教室 35 242 合 計 167 1246
(2) こどもひろば（名称: プチどら）	3回/週	10/31～11/3文化祭に書道教室・編み物手芸教室の作品を展示 未就園児とその保護者を対象に、親子の交流を通じて子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。 弓削ふれあいプラザで、 月・火・金曜日の週3日開催。 開催日数 139日 参加者数 のべ3783人 （大人1714人 子ども2069人） 【活動・支援内容】 ① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・自然と親しむ事業 プチトマトの苗植え・収穫 木の実や落ち葉等で作品づくり ・親のリフレッシュ 栄養士さんの料理教室2回・カレーパーティ・お楽しみ会・リサイクルショップ2回・ハンドベルコンサート2回・しめ縄づくり・1月～月1回プチどらカフェ ・遊びの工夫 季節の遊び・散歩・身近なものを使った遊び・作品づくり等 ② 子育てに関する相談・支援 ・こどもひろば開催時、スタッフによる相談（随時） ③ 地域の子育て関連情報の提供 ・「どらんちゅ」の発行（毎月） ・各種セミナー等の案内（随時）

(3)退職シニア世代へのアプローチ	年 間	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックページを活用した情報の発信（随時） ④ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本のひろば（毎月） ・歯のおはなし 6/1 ⑤ 地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流） <ul style="list-style-type: none"> ・青年団との交流会 9/8 ・中学生ボランティア体験 7/28.31 8/3.4.7 ・プチどら★にここプロジェクト 赤ちゃん（～3歳）と母親が高齢者施設を訪問し、高齢者との交流を図った。 グループホーム希望の家・綾戸 5回 グループホームわかすぎの丘・七里 3回 その他高齢者理解の学習会やボランティア交流会を開催 ・サポーター養成講座の開催 地域での子育てサロン運営をサポートできる人材の養成。 今年度開催なし ・子育て講演会の開催 子育て中の保護者を対象に、子育てに参考となる講演会を開催する。 今年度開催なし ・退職シニア等に子ども広場への協力を依頼し、異世代間の交流を図ると共に、地域人材の発掘につなげた。 シルバー人材センターボランティアとの交流 4回 退職シニアボランティア菜の花グループさんの 流しそうめん 7/27
-------------------	-----	--

□ 当事者団体への支援

事 業	実施状況	事 業 内 容
(1)当事者団体支援	年 間	団体事務の補助および自立に向けての支援に努めた。 各種事業への参加・協力。団体運営の支援。 資金の助成 【主な団体】 ＊ 視覚障害者友の会 ＊ 母子福祉のぞみ会 ＊手をつなぐ育成会
(2)一人暮らし高齢者支援事業	2回/年	お花見 4/15 参加者12名 クリスマス会 12/10 参加者23名 ボランティアさん等に余興をお願いし、食事をとりながら交流を深めていただいた。（共同募金の配分金を活用。）

主体的な活動への支援

☐ 福祉活動団体への助成

事業	実施状況	事業内容
(1)福祉団体への支援	随時 随時	自主的に福祉活動を行う福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成した。 町内の小・中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行った。

7. 相談・支援事業の充実

☐ 定期相談の継続・専門相談の充実

事業	実施状況	事業内容
(1)心配ごと相談所の開設	35回/年 2回/年	<ul style="list-style-type: none"> 町勤労福祉会館にて開設 相談員のべ人数 83名 相談件数 17件 相談内容 生計1件、年金1件、住宅3件、家族3件、医療1件、財産5件、苦情2件、その他3件（相談件数1件につき重複あり） 無料弁護士による専門相談への紹介件数・・・0件 広報紙、ホームページ等により相談所の実施について周知を図った。 相談員対象の研修を受講し、相談対応力の向上を図った。 弁護士による無料相談を実施した。 相談件数…9/3：4件、3/9：4件 ホームページ、広報紙、有線等により日程等を周知した。
(2)生活困窮者自立支援事業	随時	地域内で課題となっているケースの把握や対象者の実態把握に努めた。
①対象者の発見	随時	民生委員さんとの連携により対象となるケースの把握に努めた。 社協の他事業・他部門と連携し、各制度での対応が困難な相談ケースについて、本事業での対応を図った。
②相談受付	随時	町福祉課と連携し、生活困窮に関する相談に対し協働して対応し、本事業のスムーズな運営を図った。 新規相談受付件数 7件 情報提供や相談対応で終了した件数 4件 他の制度や専門機関へつないだ件数 3件 支援の同意に向けて対応中の件数 0件

③自立相談支援の実施	随 時	<p>相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ個々人の状態に合った支援計画の作成等を行った。</p> <p>支援計画に基づく支援件数 2件 新規支援計画作成件数 0件 支援計画に基づく支援終了件数 2件 (支援終了に当たっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施)</p>
④就労支援への橋渡し	随 時	<p>ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行った。</p> <p>支援調整会議の出席 4/17、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、1/21、3/17 中間的就労支援事業所の開拓に向けて、県および町担当課職員と協議を行った。</p>
⑤事業の啓発	6 月 随 時	<p>竜王町定例民生委員・児童委員協議会において制度説明等実施した。</p> <p>社協広報誌で、制度の啓発を行った。</p>

□ 福祉サービスの実施および利用支援

事 業	実施状況	事 業 内 容
(1)生活福祉資金貸付制度の利用支援	年 間	<p>低所得世帯等の自立更生を助長するため、制度の利用窓口として相談支援を行った。</p> <p>*相談件数 3件、内新規契約 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯等の教育支援資金の貸付事業を実施 <p>*相談件数 1件、内新規契約 0件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失業者等、日常生活全般が困難な状況の方に、継続的な相談援助と生活費等の一時的な資金の貸付け利用支援などの自立支援を行った。 <p>*相談件数 2件、内新規契約 1件</p>
(2)日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)による支援	年 間	<p>判断面で日常生活に不安のある高齢者や障がいのある方等を対象に、生活費のお届けや福祉サービス・行政手続きを本人に代わって行うとともに、日常生活での困りごとなど、生活全般に対する相談窓口となり、他職種との連携を図りながら、利用者さんの自立を支える支援を行った。</p> <p>利用者数の増加で個々への対応回数が著しく増加していることや、その支援の内容が複雑かつ困難化していることもあり、引き続き支援員の補充・育成に努めた。</p>

(3)成年後見制度 への移行支援	必要時	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約：3件（高齢2、知的1）、 終了契約数：0件 現在契約総数：24件（高齢13件、知的7件、精神4件） 相談、支援回数：851回／年 <p>移行該当ケースなし。</p>
---------------------	-----	--

9. 調査・広報活動の充実

☐ 調査活動

事業	実施状況	事業内容
(1)要援護世帯の 把握と対応	年間	訪問事業・民生委員さん・福祉委員さんなどからの情報収集を行った。
(2)一人暮らし高 齢者・高齢者の みの世帯等の把握		<p>自立相談支援事業からのニーズの発見や地域福祉コーディネーターによる情報収集に努めた。</p> <p>見守り配食事業のチェックシートの作成を行った。</p> <p>歳末たすけあい事業おせち料理宅配助成を通じた把握を行った。</p>
(3)地域のニーズ の把握	随時 毎日 10月	<p>職員一人ひとりが常にアンテナを立てて、地域の情報収集に努めた。</p> <p>地域福祉推進グループでシェア会議を行い、個々の気づきノートなどを活用して地域の情報の共有を図った。</p> <p>ブロック別懇談会の実施。</p>

☐ 広報活動

事業	実施状況	事業内容
(1)「福祉りゅう おう」の発行	5/11 8/1 11/1 2/1	<p>No.108号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めた。</p> <p>No.109号 //</p> <p>No.110号 //</p> <p>No.111号 //</p>
(2)こどもひろば 便りの発行	随時	<p>こどもひろば便り「どらんちゅ」を活用し、事業の近況報告やお知らせなどを掲載した。</p> <p>参加者の募集や月間の予定をお知らせし、事業への参加者の拡大に努めた。</p>

(3) プラザだよりの発行	随 時	町内3つのふれあいプラザで実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「高齢者趣味活動」による仲間づくりなどの情報を、高齢者の健康維持に役立てていただくため「プラザだより」として毎月発行し、多数の参加者を募った。
(4) ホームページの管理	年 間	こまめにホームページを更新し、社協の事業活動やボランティア情報を掲載した。（27年度閲覧：4,382件） ・ 事業参加者の募集や「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）月間の予定をお知らせし、事業への参加者の拡大を図った。 ・ 各事業の申請書、実績報告書等の様式をホームページからダウンロードできるようにした。
(5) フェイスブックページの管理	年 間	誰でも気軽に情報を手に入れられるようフェイスブックページを活用し、月間予定表の掲載・タイムリーな情報の提供・地域の子育て情報の提供などを行った。

10. その他

□ 関係機関との連携・支援

事 業	実施状況	事 業 内 容
(1) 関係機関との連携	年 間	行政関係機関、福祉関係施設・団体との連携 諸事業への参加協力・活動費等支援
(2) 事務局支援	年 間	事務局の運営、または運営補助 事業の実施・協力・助成金支援 【事務局を預かっている団体】 ＊ 竜王町共同募金委員会 ＊ 日本赤十字社竜王町分区 ＊ 遺族会 ＊ 護国社奉賛会 ＊ 民生委員児童委員協議会

□ その他の事業、啓発活動等の実施

事業	実施状況	事業内容
(1)共同募金運動の推進	年間	募金活動の推進（再掲）。 配分活動の実施。 要援護世帯支援、小地域ふれあい事業、福祉団体・施設への事業助成を行った。
(2)社会を明るくする運動	7月	社会を明るくする運動・青少年健全育成活動へ協力し、のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動を実施した。 ・推進委員会の開催（6/17） ・愛の学校訪問、学校関係者との懇談（7/1） ・内閣総理大臣からのメッセージ伝達（7/1） ・竜王町民への街頭啓発（7/1）フレンドマート竜王店前 ・啓発ポスターの掲示、のぼり旗の設置（期間中）
(3)平和祈念事業	7/25	戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町との主催で平和祈念式を実施した。
(4)社会福祉大会の開催	11/8	多くの団体等の後援を得て、地域に住む方々同士が互いに支え合い、今後さらに活動の充実と誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して開催した。 第1部 ・社協会長表彰 ・感謝状の贈呈 表彰状 28人（団体） 感謝状 2人（団体） ・竜王町共同募金委員会会長賞状贈呈 平成27年度ぬりえ・ポスターコンクール 各最優秀、優秀賞 ぬりえの部（4歳児・5歳児） ポスターの部（小中学生） ・滋賀県共同募金会会長 感謝状（伝達） 継続寄付 7人（団体） 第2部 講演『みんなの支えあいで作る福祉のまちづくりをめざして』 講師 motto兵庫事務局長 栗木 剛 氏

11. 在宅福祉サービスの充実

□ 介護事業所の運営

事業	実施状況	事業内容
(1)訪問介護事業	年間	要介護状態の利用者さんが、安心して在宅での生活が継続できるよう、身体介護・生活介護・通院介助サービスの提供を行った。 ・延べご利用者数：2981人（月平均248人）
(2)介護予防訪問介護事業	年間	要支援状態の利用者さんが、自立した生活を送れるよう、身体介護・生活介護サービスの提供を行った。 ・延べご利用者数：265人（月平均22人）
(3)介護保険外サービス事業	年間	介護保険制度の対象サービス（訪問介護事業）で対応出来ない方の介護サービスの提供を行う。：利用実績なし
(4)生活管理指導員派遣事業	年間	町の受託において、日常生活を営むのに支障がある高齢者に対して生活管理指導員を派遣し、高齢者が健全で安らかな生活を営めるよう日常生活に対する必要な支援、指導を図る。 ：利用実績なし
(5)外出支援サービスの実施	随時	外出の手段のない一人暮らし高齢者を対象に外出支援サービスを実施した。 ・介護タクシー（4条許可）：5回 ・ヘルパー等による福祉有償運送（78条許可）：56回
(6)利用者負担減免の実施	随時	介護保険等サービスの利用者さんで低所得世帯の方に対して利用料金の一部負担を行うことで利用を支援した。 ・延べご利用者数：36人（月平均3人）

□ 障害福祉サービスの実施

事業	実施状況	事業内容
(1)居宅介護事業	年間	障害者自立支援法による、身体介護・家事援助などの訪問介護サービスの提供を行った。 ・延べご利用者数：1433人（月平均119人）
(2)重度訪問介護事業	年間	常時、介護が必要な障害児・者に対して、継続的なサービスを提供。：利用実績なし
(3)同行援護	年間	視覚障害者の方の外出支援、移動支援を行った。 ・延べご利用者数：18人（月平均1.5人）
(4)地域支援事業	年間	町の地域支援事業による、移動サービスの提供を行った。 ・延べご利用者数：17人（月平均1.4人）

□ 車椅子・ベッドの貸し出し

事業	実施状況	事業内容
(1)福祉用具貸与事業	年間 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活において、車椅子・ベッドが必要な方に対して無料で貸し出しを行った。 車いす貸出 46件(内2件長期契約) 介護ベッド貸出 3件(内2件長期契約) ・福祉用具の在庫管理・メンテナンス等 車いす点検 5/22 ・車いす配分事業 自走式10台(本会で長期間管理しているものを修理・点検した車両)および介助用3台を抽選にて各自治会へ配置。

12. 介護予防への取り組み

□ 介護予防拠点施設の管理・運営

事業	実施状況	事業内容
(1)プラザの管理	年間	鏡・弓削・鶴川の3ふれあいプラザを指定管理者制度により町から社協が管理を受託している。 常時、社協職員が管理を行うほか、カーペットの清掃、消防点検等は、専門業者へ委託した。
(2)プラザの運営	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 各プラザ月3～4回程度 職員 ・消防設備点検 3/16 ・カーペット洗浄 3/9 ・浄化槽洗浄 2/18 } 業者委託 <ul style="list-style-type: none"> ・草刈 鏡・弓削プラザ 各4回/年 職員 (鶴川プラザは全面舗装のため除草なし) ・大掃除 12月 各プラザ 職員 <p>介護予防・地域交流・ボランティアの活動場所として運営した。</p> <p>総利用人数(年) 鶴川プラザ 324回/3908人 弓削プラザ 215回/5297人 鏡プラザ 174回/1492人</p>
①生涯現役事業	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつまでも元気クラブ」(生涯現役事業)の実施。 鏡・弓削・鶴川あふれあいプラザで介護予防事業の実施。 住民が寄り集い、講座を通じて交流し、地域へ広めていけるよう、講座を実施した。

		・生涯現役事業（いつまでも元気クラブ）の実施							
			鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ				
		余暇活動	81 回/787 人	36 回/242 人	61 回/328 人				
		交流支援	9 回/98 人	11 回/201 人	3 回/38 人				
		運動機能向上	52 回/487 人	0	5 回/36 人				
		文化活動	43 回/288 人	3 回/29 人	12 回/63 人				
		自学自習	62 回/541 人	2 回/22 人	1 回/5 人				
		ボランティア活動支援	4 回/37 人	0	25 回/118 人				
		認知症予防委託事業	0	0	0				
		<p>余暇活動・・・囲碁・将棋・健康麻雀・ミニ卓球でラリー・など趣味活動に初めて挑戦して頂いた方も多い。</p> <p>交流支援・・・みんなでハンドベル in こどもひろば、フリーマーケット（出店を仕切る）、初めての介護を学ぼう（福祉用具の体感など）、多世代交流「伝承料理」、地域交流「ワンデイシェフのお店」来客、お正月遊びを楽しもう、輪になって歌おうなど多世代が集まり交流を図った。</p> <p>運動機能向上・・・健康チェック（自立体力検定）、健康リズム体操・3B体操・ゆったりヨガなど月に一回はしっかり運動の実施。「DVD体操」毎週1回の運動を実施。</p> <p>文化活動・・・絵手紙・クラフトバック、パッチワークやアートフラワー（「竜王町文化きらめきフェア」「文月」発表会への出展）、日本舞踊、日本民謡、など。</p> <p>自学自習・・・整理収納講座（4回コース）、人生の集大成講座（3回コース）、消費生活講座、英語で話そう、家計簿をつけよう、健康講座など。</p> <p>ボランティア活動支援・・・ワンデイシェフ（料理グループ）、日曜大工（卓上飾り棚、プランターカバー作り、マガジンラック）、プランターに花を植えプランターカバーを配布する。」（病院や郵便局、図書館、公民館、商店へ飾って頂く。）</p> <p>認知症予防・・・パソコンのすすめ（16回）2グループ認知症予防を実施。</p> <p>・介護予防事業の実施。</p> <table><tr><td>鵜川プラザ</td><td>251回・2238人</td></tr><tr><td>弓削プラザ</td><td>53回・495人</td></tr><tr><td>鏡プラザ</td><td>107回・588人</td></tr></table>				鵜川プラザ	251回・2238人	弓削プラザ	53回・495人
鵜川プラザ	251回・2238人								
弓削プラザ	53回・495人								
鏡プラザ	107回・588人								

② 高齢者趣味活動	年 間	<p>・「いきいき趣味活動」の実施。</p> <p>住民自らが寄り集い、講座を通じて交流を深めあい、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めた。</p> <p>鵜川プラザ 5教室 開催数48回 参加人数366人</p> <p>弓削プラザ 2教室 開催数24回 参加人数147人</p> <p>鏡プラザ 4教室 開催数47回 参加人数386人</p>																												
(3) 貸し館事業	年 間	<p>地域の方々にも利用いただけるよう、地域で行われる介護予防を目的とした事業等に対して、プラザの貸し館（要予約・有料）を行った。</p> <table><tr><td></td><td>鵜川プラザ</td><td>弓削プラザ</td><td>鏡プラザ</td></tr><tr><td>竜王町</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>町事業委託 先事業所</td><td>9</td><td></td><td>16</td></tr><tr><td>関係福祉団体</td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>自治会</td><td>5</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>その他</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>18</td><td>1</td><td>18</td></tr></table>		鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ	竜王町	1	1	1	町事業委託 先事業所	9		16	関係福祉団体	1			自治会	5		1	その他	2			合 計	18	1	18
	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ																											
竜王町	1	1	1																											
町事業委託 先事業所	9		16																											
関係福祉団体	1																													
自治会	5		1																											
その他	2																													
合 計	18	1	18																											

滋賀県共同募金会竜王町共同募金委員会事業報告

事業	実施状況	事業内容
(1)理事会	5/26	平成26年度竜王町共同募金委員会事業報告、決算の承認 平成27年度竜王町共同募金委員会評議員の選任同意
	3/25	竜王町共同募金委員会審査委員会委員(補欠)の選任同意 平成27年度竜王町共同募金委員会補正予算の承認 平成28年度竜王町共同募金委員会事業計画、予算の承認 竜王町共同募金委員会評議員の選任
評議員会	5/29	平成26年度竜王町共同募金委員会事業報告、決算の承認 平成27年度竜王町共同募金委員会理事(補欠)の選任同意 竜王町共同募金委員会審査委員会委員(補欠)の選任同意
	3/29	平成27年度滋賀県共同募金会竜王町共同募金委員会会計補正予算(案)について 平成28年度滋賀県共同募金会竜王町共同募金委員会事業計画(案)について 平成28年度滋賀県共同募金会竜王町共同募金委員会会計予算(案)について
(2)監事会	5/26	平成26年度竜王町共同募金委員会会計監査の実施
(3)戸別募金の実施	10~12月	自治会の協力のもと募金運動を実施した。 一般募金 847,000円、歳末募金 847,291円 (前年度837,711円 前年度 817,829円)
(4)法人募金の実施	12月	民生委員児童委員さんにご協力いただき、町内企業・商店等に対し募金運動を実施した。 歳末募金 343,401円 (前年度 349,800円)
(5)その他募金の実施	10~12月	職域募金、街頭募金、学校募金のほか歳末たすけあい募金の取りまとめを行った。 一般募金 320,349円、歳末募金 47,102円 (前年度 364,775円 前年度 74,539円)
(6)共同募金の啓発	1~3回/年	街頭募金については、NPOや福祉施設等の協力を得て、10/2、10/19にダイハツ竜王工場さんおよび10/6にフレンドマート竜王店さんで街頭募金を実施し、地域の皆で盛り上げていく活動であることを知ってもらえた。 共同募金についての啓発を目的とし、園児はぬり絵、小中学生はポスターを募集し、優秀作品には表彰を行った。 また、全作品を公民館に一定期間掲示した。
(7)共同募金目標額		平成27年度 目標額 実績額 一般募金 1,800,000 円 1,167,349円 歳末募金 2,000,000 円 1,237,794円
(8)審査委員会		共同募金事業の円滑な推進を図るために、審査委員会を開催した。

(9)事業助成	6/29	<p>第1回審査委員会</p> <p>平成26年度 赤い羽根共同募金助成事業実績報告と助成額の決定</p> <p>① 小地域福祉活動助成金 申請地区28地区。全地区へ助成決定 配分額 388,000円</p> <p>② 赤い羽根共同募金助成事業 (モデル地区での災害時要援護者支援体制づくり)</p> <p>③ 赤い羽根共同募金助成事業(社会福祉協議会分) 配分額 659,000円 一人暮らし高齢者見守り配食事業、一人暮らし高齢者の集い、地域福祉活動計画の策定、社会福祉大会の開催、広報の発行などに活用した。執行残は翌年度会計に戻入する。</p>
	10/2	<p>第2回審査委員会</p> <p>歳末たすけあい運動実施要綱、要領の確認 赤い羽根共同募金ぬりえ・ポスターコンクールの最優秀賞及び優秀賞の選考</p>
	12/17	<p>第3回審査委員会</p> <p>寄付金額の中間報告 歳末たすけあい運動にかかる助成審査</p> <p>①小地域ふれあい事業助成 申請地区 20地区。全地区へ助成決定 助成総額 194,000円</p> <p>②福祉関係団体・施設等歳末事業助成 申請数20団体・施設。全団体・施設へ助成決定 助成総額 178,000円</p> <p>③おせち料理宅配助成 申請世帯数 38世帯。全世帯へ助成決定 助成総額 137,160円</p> <p>④個人見舞事業 申請数 17人。全員へ助成決定 助成総額 170,000円分の商品券</p> <p>⑤竜王町社会福祉協議会歳末事業助成について 一人暮らし高齢者見守り配食事業 34,011円 一人暮らし高齢者のつどい 27,456円</p>